

vol.12

あっという間にもう2月です。2月といえば、1～3年生の皆さんは後期試験を、4年生の皆さんは卒業を控えている時期ですね。試験が終われば、長い春休みになります。時間があるので、まとまった時間がとれると思います。せっかくなので、普段は読まないような本を読んでもみるのもよいですね。

最近こんな活動してます！ (12月～1月)

最近の学読班は…

最近の学読班は、班内で活発に本の回し読みをしています。この2ヶ月で、多種多様な本を班内で回し読みしました。また学読班の班員も随時、募集しています。興味のある方は是非、金曜日の昼休みに全学36番教室に来てください。お待ちしております。



書籍からのお知らせ

◆第2回読書マラソンコメント大賞、結果発表！

今年で2回目となる「名古屋大学・読書マラソンコメント大賞」の表彰式を12月11日(月)、フレンドリィ南部で行いました。6月26日～10月10日の応募期間中に、昨年を大きく上回る373通の応募がありました(昨年は231通)。たくさんのご応募、ありがとうございました。なお、読書マラソンコメント大賞の結果は、以下の通りです。

名古屋大学附属図書館長賞(最優秀賞)…1名

法学部 ペンネーム・花音さん / 「ノルウェイの森」(村上春樹、講談社文庫)

名古屋大学平和憲章特別賞(文系専門書賞)…1名

教育学部 ペンネーム・おむりひめさん / 「大学生がカウンセリングを求めるとき」(小林哲郎ほか、ミネルヴァ書局)

遺伝子解読40周年記念賞(理系専門書賞)…1名

理学研究科 ペンネーム・フリンだいちゃげさん / 「進化とゲーム理論」(ジョン・M・スミス、産業図書)

名古屋大学消費生活協同組合賞(特別賞)…1名

教育発達科学研究科 ペンネーム・ぐるぐるさん / 「へんないきもの」(早川いくを、バジリコ)

岩波書店賞(岩波書店の本優秀賞)…2名

文学部 ペンネーム・みなもさん / 「星の王子さま」(サン・テグジュペリ、岩波書店)
文学部 ペンネーム・37363146さん / 「笑う大英帝国」(富山太佳夫、岩波新書)

集英社賞(集英社の本優秀賞)…2名

法学研究科 ペンネーム・小夏さん / 「エミリー」(嶽本野ぼら、集英社文庫)
理学研究科 ペンネーム・あきらさん / 「ベター・ハーフ」(唯川恵、集英社文庫)

新潮社賞(新潮社の本優秀賞)…2名

経済学部 ペンネーム・springさん / 「4TEEN」(石田衣良、新潮文庫)
農学部 ペンネーム・ちかさん / 「博士の愛した歌式」(小川洋子、新潮文庫)

ナイスランナー賞(優秀賞)…10名

文学部 ペンネーム・絹さん / 「怪奇小説集」(遠藤周作、講談社文庫)
理学研究科 ペンネーム・折目正さん / 「名古屋嬢ライフ」(世木みやび、光文社知恵の森文庫)
文学研究科 ペンネーム・桜井青さん / 「スキップ」(北村薫、新潮文庫)
工学部 ペンネーム・きすけさん / 「スイートリトルライズ」(江國香織、幻冬舎文庫)
農学部 ペンネーム・ゆちうにさん / 「東京タワー」(I.I.R.IE・フランキー、扶桑社)
農学部 ペンネーム・月天心さん / 「理解という名の愛がほしい」(山田スーニー、河出書房新社)
農学部 ペンネーム・サトイモさん / 「片思い」(東野圭吾、文春文庫)
理学研究科 ペンネーム・キラリティーさん / 「生物学個人授業」(岡田節人、新潮文庫)
文学部 ペンネーム・フラウン運動さん / 「NHKによくぞ!」(滝本竜彦、角川文庫)
理学研究科 ペンネーム・PW00さん / 「東京ファイティングキッズ」(内田樹・平川克美、柏書房)

学読的 回し読み中毒

現在、学読班では班内で本の回し読みを実施しています。ここでは、12月から1月までに学読班の中で回し読みをした本の感想の一部を掲載します。どの本も読みごたえのある面白い本だと思うので、読んでみたいと思った人は是非、春休みに読んでみてください。

□国語入試問題必勝法

著者：清水義範
出版社：講談社
ASIN：4061847740



あまり入試問題関係ないですね…短編集みたいな感じで、感動あり、笑いあり、訳が分からないものもあり、読んでいて退屈しませんでした。私のオススメは最後の「人間の風景」ですね。年寄り4人がリレー形式で一つの小説を書く、と言うのですが、その内容ときたら…とにかく、最後まで笑えばなしでした。あとは、「時代食堂の特別料理」もよかったですね。客の思い出の料理を出すことで、食べることの楽しさを思い出してもらおう、と言う内容です。食べ物が満ち溢れている社会で生きている私たちにとって、食べるとは何なのかを改めて考えさせられます。

□環境問題のウソ

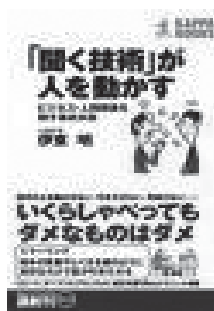
著者：池田清彦
出版社：筑摩書房
ASIN：4480687300



軽快な口調で、世間一般で信じられている問題(主に環境問題)について反論しています。その反論も論理性でなおかつ分かりやすいので、大変読みやすかったです(最近は漢字ばかりで読みにくいものばかり読んでいたので、ちょっとした息抜きになりました)。報道からは知ることの出来ない環境問題の裏側みたいなものを知ることができ、少し賢くなった気分です(笑)。

□「聞く技術」が人を動かす

著者：伊東明
出版社：光文社
ASIN：4334006981



会話における「聞き手」の重要性を、具体的な会話を例に挙げて語っています。この本全体から受けた印象は、相手の気持ちになって考えることがいかに大事か、というものでした。相手が話していて気持ちよいと思える受け答えをする、それだけでも会話が楽しいものになるのだと気付かされました。ただ、疑り深い私には、本当に、この本に書かれているように実際の会話がうまくいくとはなかなか信じられませぬ。まあ、参考にする程度で過大な期待はしないほうがよいと思います。

□中国古典「一日一話」

著者：守屋洋
出版社：三笠書房
ASIN：4837908624



論語や孫子など、中国古典の中から私たちの人生に役立つ教訓を解説したものです。漢文の授業で習ったものもいくつかあり、懐かしい気分になります。また、出典についても解説がされていますので、ちょっとした知識を身につけたい人にもオススメです。

一つ一つの文章を読んで、中国古典の素晴らしさを改めて実感しました。千年以上の間、語り継がれてきた言葉だけあります。言葉を音読してみると、心に響きますよ。

4月からは、しばらくの間休止していた学読的活字中毒も復活する予定ですし、新たに1年生もメンバーに加わります。来年度の学読班もよろしくお願ひします。また、学読班への意見、要望もアンケートでいつでもお待ちしております。それでは！

文責：学生に読書を薦める班

僕のメガネは、レンズの上側は赤、下側はメタルのフレームです。レンズが分厚いのでフレームも太いのにしています。その日の気分でもメガネにするかコンタクトにするか決めます。決して寝坊してコンタクトを入れる暇もないとか、そんなものではありません！！(ハムハム)